

平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立上河内中学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や生徒の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって生徒を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成28年度「全国学力・学習状況調査」における本校生徒の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査期日

平成28年4月19日(火)

3 調査対象

小学校 第6学年(国語A・B, 算数A・B, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語A・B, 数学A・B, 生徒質問紙)

4 本校の参加状況

① 国語A 90人 国語B 90人

② 数学A 90人 数学B 90人

5 留意事項

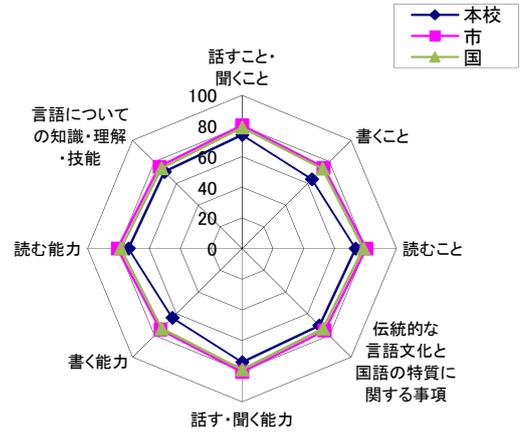
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、数学の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、
「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立〇〇〇中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

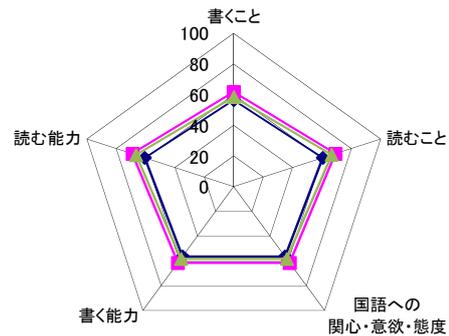
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	74.1	80.5	78.9
	書くこと	63.9	74.7	73.7
	読むこと	73.5	80.5	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	70.9	75.6	73.9
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	74.1	80.5	78.9
	書く能力	63.9	74.7	73.7
	読む能力	73.5	80.5	78.6
	言語についての知識・理解・技能	70.9	75.6	73.9



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと			
	書くこと	56.4	61.6	58.3
	読むこと	60.6	69.1	66.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	56.4	61.6	58.3
	話す・聞く能力			
	書く能力	56.4	61.6	58.3
	読む能力	60.6	69.1	66.6
	言語についての知識・理解・技能			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

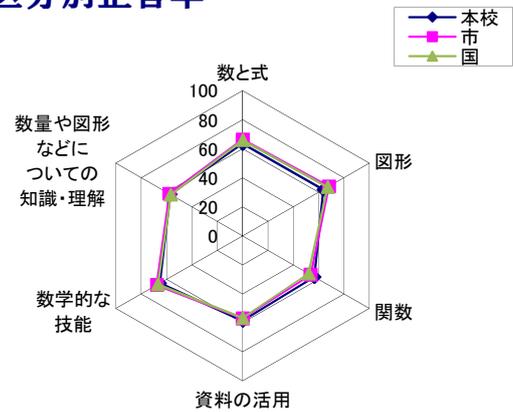
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●国語Aの平均正答率は、市の平均よりも6.4ポイント、国の平均よりも4.8ポイント低い。 ●「目的に応じて資料を効果的に活用して話す」「話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する」の問題は、全国平均よりも7.0ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国語の授業だけでなく、全ての教科の学習を通して「話す」前段階の「書く活動」を取り入れ、自分の考えや思いだけでなく、資料を活用しながら話せるように指導していく。国語の授業では、感想・主題・要旨などを書く指導を充実させていく。 ○「意見発表」や「聞くテスト」などを通して、意識して聴いたり、ポイントをメモしたりする習慣を身に付けさせていく。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●国語Aの平均正答率は、市の平均よりも10.8ポイント、国の平均よりも9.8ポイント低い。特に、「集めた資料を整理して文章を構成する」「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く」問題では、全国平均よりも10ポイント以上下回っている。 ●国語Bの平均正答率は市の平均よりも5.2ポイント、国の平均よりも1.9ポイント低い。「文章の構成や表現のしかたについて、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く」問題では、全国の平均よりも10ポイント以上下回っている。 ○「課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える」問題では、3つの条件を満たして記述した解答の正答が、市の平均、全国の平均を10ポイント以上上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「課題作文」では、学習の効果を上げているので、今後も作品の読解や作文単元を通して、「感想文」「要点・要旨のまとめ」「意見文」「主張文」など様々な文種を書かせたり、話す前の「書く活動」で考えをまとめて書くことに慣れさせたりして、「書く力」を向上させる。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●国語Aの平均正答率は、市の平均よりも7.0ポイント、国の平均よりも5.1ポイント低い。特に、「奥付を使って本についての情報を得る」問題では、全国の平均を13.8ポイント下回っている。 ●国語Bの平均正答率は市の平均よりも8.5ポイント、国の平均よりも6.0ポイント低い。特に、「目的に応じて必要な情報を読み取る」問題では、全国の平均よりも10ポイント以上下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文学的作品では「場面(連)構成」「登場人物の心情」「情景描写」など、苦手とする説明文では「段落構成」「指示語」「接続語」などの読解のポイントに着目して読みを深めることが出来るように授業や教材プリントを工夫し、読解の技術を向上させる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ●国語Aの平均正答率は、市の平均よりも4.7ポイント、国の平均よりも3.0ポイント低い。 ●「文字の形や大きさ、配列に注意して書く」「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む」問題では、全国平均よりも10ポイント以上下回っている。 ○「文脈に即して漢字を正しく書く」「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」問題では、市の平均や全国の平均を上回っている項目が複数ある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「漢字」や「語彙」の学習は効果があったので、今後も「漢字」「語彙」の学習を継続して言語的な力を向上させる。また、「歴史的仮名遣い」や「文法」などの復習や補強のための学習を適宜行う。

宇都宮市立〇〇〇中学校第3学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

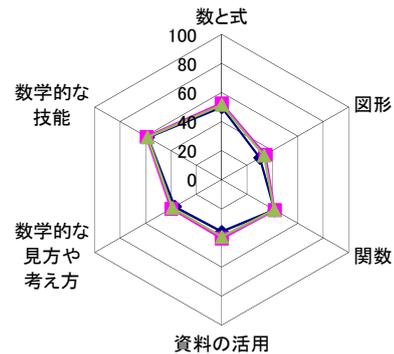
【数学A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	63.4	66.4	65.9
	図形	63.8	68.1	67.1
	関数	56.7	53.7	52.0
	資料の活用	58.5	56.9	56.5
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方			
	数学的な技能	65.4	67.8	66.9
	数量や図形などについての知識・理解	57.2	57.8	56.8



【数学B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	50.0	52.7	51.5
	図形	30.1	34.5	33.3
	関数	41.6	41.9	41.4
	資料の活用	35.8	40.5	39.3
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	37.0	39.9	38.9
	数学的な技能	58.2	59.2	58.5
	数量や図形などについての知識・理解			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	<ul style="list-style-type: none"> ●数学Aの平均正答率は全国平均より2.5ポイント低い。 ●数学Bは1.5ポイント低い。 ○数学A、Bともに「数量の関係を文字式に表す問題」では正答率は全国平均を大きく上回っている。 ●数学Aの「不等号の意味」、数学Bの「情報を選択し処理する問題」が全国平均よりも、ともに7.7ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も計算問題を数多く取り組ませるとともに、計算の時間を計ったり、正確に解けるようにしたりするなど、学習の工夫を行う。 ・文章から読み取り、必要な情報を正しく選択し処理をする数学的な見方や考え方の問題にも十分対応できるよう、発展的な内容に取り組ませる時間をより多く設定する。
図形	<ul style="list-style-type: none"> ●数学Aの平均正答率は全国平均より3.3ポイント低い。 ●数学Bの平均正答率は3.2ポイント低い。 ○数学Aの「垂線の作図」、「ねじれの位置の問題」は、全国平均より上回っている。 ●他の問題については、全国平均よりも平均して5ポイント程度下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生で「相似な図形」「円」の単元において、図形の用語、定義や定理、証明の書き方など、1、2年生の内容も踏まえながら復習を徹底して行い、確実に定着させる。 ・証明問題など発展問題に取り組む機会を増やし、活用する力を身に付けさせる。
関数	<ul style="list-style-type: none"> ○数学Aの平均正答率は4.7ポイント全国平均より高い。 ○数学Bの平均正答率は0.2ポイント全国平均より高い。 ○ほとんどの問題で、全国平均を上回っており、特に「反比例のグラフからyをxの式で表す問題」では9.8ポイント上回っている。 ●「比例の表を完成させる問題」では1.5ポイント、「yの増加量を求める」問題では1.9ポイント、全国平均を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生で「2乗に比例する関数」の学習の際に、比例・反比例、一次関数などの既習事項の復習を繰り返し指導することで、定着を図る。 ・一次関数と2乗に比例する関数の合わさった問題などの発展的な問題も授業に取り入れながら指導し、数学的な見方や考え方の観点を深めさせる。
資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○数学Aでは全国平均より2.0ポイント上回っている。 ●数学Bでは全国平均より3.5ポイント下回っている。 ○数学Aの「近似値と誤差の意味の問題」では全国平均よりも5.1ポイント上回っている。 ●数学Bの「資料の傾向から判断の説明をする問題」では11ポイントと大きく下回っており、無解答が30%いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の整理と活用、確率の基本的な内容を復習させ、定着を図る。 ・問題を解くだけでなく、学習したことを活用したり説明したりする機会を授業に取り入れることで、自分の考えを書いたり、話して伝えたりするなど、考えを表現できる力を身に付けさせる。

宇都宮市立上河内中学校第3学年生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

H28	主な質問と回答内容	本校	栃木県	県との差	全国平均	全国との差
1	学校に行くのは楽しいと思いますか	84.5	84.3	0.2	81.4	3.1
2	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	86.7	87.6	-0.9	84.2	2.5
3	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	60.0	70.4	-10.4	64.8	-4.8
4	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	44.4	48.3	-3.9	50.2	-5.8
5	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	54.5	61.4	-6.9	62.8	-8.3
6	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	78.8	80.5	-1.7	72.8	6.0
7	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	76.7	70.9	5.8	57.7	19.0
8	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	85.6	79.5	6.1	68.3	17.3
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	91.1	95.5	-4.4	93.6	-2.5
10	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	92.2	94.6	-2.4	92.8	-0.6
11	将来の夢や目標を持っていますか	70.0	75.6	-5.6	71.1	-1.1
12	読書は好きですか	77.7	75.1	2.6	69.9	7.8
13	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	14.5	13.5	1.0	13.6	0.9
14	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか	36.7	7.1	29.6	7.6	29.1
15	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	58.9	52.2	6.7	48.4	10.5
16	家で、学校の授業の予習をしていますか	60.0	38.1	21.9	34.2	25.8
17	家で、学校の授業の復習をしていますか	58.9	63.7	-4.8	51.0	7.9
18	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)	10.0	18.9	-8.9	16.6	-6.6
19	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	58.9	72.1	-13.2	68.2	-9.3
20	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか	22.2	15.7	6.5	18.9	3.3
21	朝食を毎日食べていますか	93.3	93.9	-0.6	93.3	0.0
22	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.2	93.3	-2.1	92.3	-1.1
23	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	73.3	76.0	-2.7	75.2	-1.9
24	普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか	7.8	7.0	0.8	7.1	0.7

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○No.1、2の肯定的回答率は全国平均を上回っており、学校生活に適応し、学校生活が楽しいと感じている生徒が多い。一人一人が生き生きと活動できるよう、学校行事を工夫し充実させる。

●No.3、4、5の肯定的回答率が、全国平均、県平均を下回っている。「表現力を高め、自分の考えを伝え合う授業」をテーマに昨年度より校内授業公開や授業研究会を実施してきたが、今年度は成果が表れなかった。話し合い活動の大切さは認識しているものの、実行に移せない生徒が多いと考える。今後も、話し合い活動を通して自分の考えたことを深めたり広げたりし、またそれを発表するなどの機会の充実を図るとともに、積極的に表現できる雰囲気作りを工夫する必要がある。

○No.6、7、8の肯定的回答率は全国平均を上回っている。総合的な学習の時間に各自が探究的な学習を展開しており、今後自分の調べたことを整理し、自分の考えをまとめて効果的に発表するためのスキル学習を充実させる。

●No.9、10、11の肯定的回答率は全国平均、宇都宮市平均を下回っており、いじめに対する認識は高いとは言えない。将来の自分の姿や社会の中での自分の姿が意識されていない傾向もある。いじめゼロ運動、人権集会を始めとする積極的な取組を生かすとともに、道徳や様々な教育活動を通して、将来の自分の姿や社会の中での自分の姿に自信をもたせ、他人の気持ちにも心配りできる生徒を育てる。

○No.12、13、14の肯定的回答率は全国平均、県平均を上回っており、学校での読書指導と、地区の図書館が隣接している好条件が相互にかみ合った結果だと考える。指導を継続し、読書が楽しいと感じている生徒を育てていく。

○No.15、16の家庭学習への取組の肯定的回答率が全国平均、県平均を上回っている。No.17の家庭学習での復習も全国平均を上回っている。家庭学習の習慣が身に付き始まっている。

●No.18、19の肯定的回答率は全国平均、県平均を下回っており、学習時間や学習方法に改善が必要なことが分かる。No.20の肯定的回答率から、テレビゲーム(コンピュータゲーム・携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム)に時間を使っていることが分かる。集会活動や保護者会を通じて、改善する。

○No.21、22、23、24の肯定的回答率は全国平均、県平均前後である。規則正しい食生活が健やかな生活リズムを作ることから、保護者の協力を得ながら正しい理解と望ましい生活習慣の充実をさらに図る。